

碩心

題字は松井居洋平

No. 412

平成24年3月

発行

財団法人日本詩吟学院岳風会 認可

碩心会

発行者 内山岳青

編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

為せば成る

広報部長 伊藤 岳光

4年前の12月、93歳で亡くなった義母の遺品である裁縫箱を整理していた時、その中にあった古びた紙片、そこには「為せば成る。為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬ



なりけり」誰の言った言葉かも分からぬまま私の心の中に長い間忘れられることなく、大切に大切にしまっていました。

何事にも几帳面で努力

家であった義母、その胸にはこの言葉が常にあったのではないのでしょうか、激動の第二次世界大戦を経験、戦後の荒廃した時代を戦地より帰った夫、姑と2人の子供を抱え、家計の足しにと針仕事に精を出したであろう日々が走馬灯のように思い起こされ胸が熱くなる思いでした。

去年の初吟会で、加藤岳洵顧問がこの和歌

を詠じた時は本当に驚き、胸が震える思いで聴き入りました。直ぐさま先生にお願いし教場で、その時代背景も含め感動的なご指導を頂くことができました。それは米沢藩主上杉鷹山公の名言である事が判明したのです。私は広報部長をお引き受けした折、この和歌が脳裏に浮かんだのです。今まで自分自身のことを体育会系の人間で、文章を書くのは大の苦手、歴史ある碩心会の機関紙を編集する事なぞ考えもしなかつた日々、私にはとても無理、出来ないと思いましたが、この言葉を信じてお引き受けした次第です。

人が何かを成し遂げようという強い意志を持って行動すれば何事も達成に向かうのではないか、ただ待っていて何も行動しなければ達成は出来ないのだということをも身をもって体験しました。その結果、自己の研鑽にも繋がりが尊敬する諸先輩、吟友、そして副部長の3名の方々に出会い一緒に仕事をし、その中から得られた様々な体験は私の一生の宝ものだと思いき感謝しております。

行事予定

碩心会 歩こう会

日時 4月14日(土)

集合場所 葉山海岸周り 銚摺バス停

集合時間 午前10時

逗子市詩吟舞連盟50周年記念大会

日時 4月22日(日) 開会午前10時

場所 逗子なぎさホール

神静地区吟詠大会

日時 5月20日(日)

場所 小田原市民会館

碩心会創立75周年記念大会

日時 5月27日(日) 開演午前10時

場所 鎌倉芸術館小ホール

神奈川県岳風連合会青少年吟詠大会

日時 6月10日(日) 開会午前10時

場所 横浜市金沢公会堂

碩心会夏季吟道講座

日時 8月18日(土)

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

準師範認許

(平成24年2月20日付)

10角田有風

尚歯会神奈川吟詠大会

平成24年2月28日(火)の平日、神奈川公会堂に於いて標記大会が開催されました。

この大会は昨年全国に先駆けて神奈川県で試験的に開催され、本年は各都道府県で行われ、来年は全国大会が行われる予定です。

尚歯会の「尚」とはたつとぶこと、「歯」は年齢のことで、即ち高齢者を尚ぶ意味で、高齢化社会と言われている今日、尚歯会の活動が大きく期待されています。

本大会は70歳以上で出場資格があり、碩心会から独吟5名、合吟男性9名、女性12名が参加しました。出場者の独吟は無伝から総伝までの104名、合吟32組でした。

尺八伴奏はなく、独吟は県下19団体から選出されただけあって迫力ある声で、一声土気高し、一吟天地心の垂幕の心を実践し、終始熱気に包まれていました。独吟15番に合吟5番を交互に組み聴き易く感じました。

主催者挨拶で総本部木部理事長から、「昨年11月1日に公益社団法人として認定されたが、伝統の継承と発展を前面に出しておりません。ただ楽しむだけの詩吟から「道」としての詩吟を立派に構築したい。道は行き止まりでは困るので、後世に続く吟道となるよう努力してもらいたい。」石毛実行委員長から

「50・60鼻たれ小僧、70・80働き盛り、90になつてお迎えが来たら100まで待てと追い返せの気持ちで頑張りましょう」の言葉がありました。高見

功労者表彰を受けて

渚支部 鈴木 岳 倅

暮れから降らなかつた雨が、初吟会当日に恵みの雨になつて始まりました。

この度、日本詩吟学院岳風会の名称が「公益社団法人日本詩吟学院」となり記念すべき初吟会式典でした。思いがけない身に余る平成23年度総本部功労者表彰を頂きました。この表彰を頂くことは心苦しい思いでなりません。微力な私が見たい事も出来ず、皆様のお陰と思つております。

入会して今年で早32年目に入りました。三井先生、根岸先生、千葉先生、現在は内山先生にご指導を頂いております。

現在の渚教室(逗子コミュニティセンター)が、碩心会の発祥の場である事が私は本当に嬉しくもあり、大切な思い出にして行きたいと思っております。

これからも元気でいられる限り、詩吟は生き甲斐として頑張つてまいります。この度は本当に有難うございました。

私の詩吟

渚支部 山下 信 山

2年先と思つていた審査会が目前に迫つている。発表会・審査会等の都度思うのは、指導・練習の積み重ねを通し、少しは上達しているのだろうか、基本がマスター出来ていないのではと、自信が無い。最近入会したメンバーの上達ぶりを見るにつけ、寂しい思いをしている。

昨年の温習会で自作俳句を吟じた。映像として碩心会のホームページに載つたので知人に知らせたところ、シアトルの友人等から多くのお褒めのメールが届いた。また昨年の元職場仲間との忘年会の2次会は、久しぶりに東京銀座のバーへ、皆がカラオケをする中で、例の自作俳句を思い切り腹から声を出し吟じた。ママさんはじめ他の客共に詩吟に接するのは初めてで有つたが、迫力が素晴らしいと大喝采、日本文化の素晴らしさに触れたと好評であった。

「初めて知る古き中国の漢詩、伝統の和歌・俳句等も学びながら、体全体で声を出し楽しく吟ずる」これが私の詩吟と思つています。

それにしても、今年こそは毎回ゼロからではなく、基本に忠実に、右肩上がりに成長する詩吟となるようにと思つている。

特別寄稿

相州岳風連合の仲間として日頃親交の深い
神奈川誠吟会白井会長がこの度、神奈川岳風
連合会会長になられました。これを機にご寄
稿頂きましたのでご紹介致します。 伊藤

碩心会に寄せて

神奈川岳風連合会会長 白井 岳 琇

私は、昨年10月に連合会会長に選任されま
した。微力ながら専心努力致す所存でござい
ますので、前会長同様のご指導ご鞭撻の程を
お願い申し上げます。



昨年11月に、岳風会が
公益社団法人日本詩吟学
院として認定されました。
碩心会におかれましては、
創立75周年を迎えられ、

5月に記念大会を開催されますことは誠に慶
賀に堪えないことであり、心からお祝いを申
上げます。

貴会は、故松井岳洋先生が昭和12年に創立
され、戦中戦後の社会的大混乱期を乗り越え
られ、歴代会長を中心に、吟界の発展に寄与
されました。碩心会の諸先輩や会員各位の大
変なご苦労とご努力に対し、心より敬意と感
謝の意を表します。

私の詩吟との出会いは、47年前、勤務先に
てたまたま詩吟教室を覗くというめぐり合せ
にありました。歴史や漢詩が好きだった私は、
いずれ詩吟を習いたいと思いました。昭和44
年当時、我家では家族全員が詩吟を始め、自
宅にて故渡辺吼風先生にご指導して頂き、神
奈川誠吟会では故草野岳穂先生（当時は草野
秋風）のご指導を頂きました。故松井岳洋先
生には二度自宅にて、直接ご指導して頂きま
した。先生の御範吟に大変感動したことが懐
かしく思い出されます。

私にとりましては、誠に縁の深い碩心会で
あり「碩心」「碩人」の意を大切に精進して
いく所存です。碩心会の益々のご発展と、会
員皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

私と詩吟

相洋支部 乗松 力 風

私は10年ほど前に脳卒中で倒れ、後遺症に
より上手く話す事が出来なくなりました。そ
の時に知人からリハビリの一環として勧めら
れたことがきっかけで詩吟を始めました。

そんな状態の私を今日まで熱心にご指導下
さった先生は勿論、先輩の方々に感謝してお
ります。

それまで、詩吟がこんなに奥深く楽しいも

のとは知りませんでした。練習をしていく
うちに第一の趣味となりました。口の体操や
音階の練習などは、毎日やらないと気が済ま
なくなるほどで、さらに、素読についても重
要性を感じて必ずする様になりました。

また、先生が教えて下さる事柄をメモし、
自宅で内容を整理して、それを確認しながら
毎日練習していますが、指の麻痺
が幾分あり、書いた字が判別出来
ない事が多々あるので、教室の授
業の際に一字一句聞き漏らさない
様に努めております。

今後は、二字目の音に表情を付
け言葉を豊かにする二字起こしな
どを身に付けて上手く吟じること
ができるようになるだけでなく、
幾分なりとも詩吟の心を理解でき
る様、精進してまいりたいと考え
ております。

会員の皆様へ

パソコンの勉強を希望する方を
募集しています。

詳細は碩心会のホームページ、
談話室をご覧ください。

広報部

“みんな”で増やそう新会員

支部紹介

笑顔がたえない教室

一色伊藤教場 岡田麗山

伊藤教場は、女性6名の吟と舞の教場です。月3回、金曜日の午後、楽しく又苦しみ乍ら笑と絆をモットーに、伊藤先生の熱い御指導のもと、お稽古に励んでいます。

お腹から声を出す吟は、おしゃべりとは違って体力を消耗し、舞が終る頃にはもうヘトヘト、ダイエット効果抜群です。

お稽古のあとのお茶の時間、楽しみの一つです。その日の反省をしたり、四方山話に花が咲き又、元氣になって帰路につきます。

吟も舞も、仲々上達しないのは、年令のせいかそれとも、私の頭が悪いせいか、とひがんでみたりもしますが、元来ひと筋縄では行かないものかも知れませんが、氣を取り直し明日から又頑張るとしましょう。



子ども会への普及活動

東日本大震災から1年を迎えた3月11日、葉山町の一色会館に於て一色海岸子ども会の恒例行事「6年生とのお別れ会」が行われ参加者(子供32名、父兄15名)を前に高橋副会長の進行の下、おおきなかぶ(高橋副会長)一休さん(小菅岳倅)勸学(角田有風)をプロジェクトでスクリーンに映像(幼児用吟詠教本より)を写しながら各々お話を交え詠じました。

20分間と短時間でしたが皆さんの笑顔と拍手から詩吟の素晴らしさを伝える事ができたと思います。

今後青少年の育成は重要課題の一つであり、今日の活動が入会に繋がる事を願いました。

伊藤

平成24年【碩心会初吟会】会計報告			
	科目	金額(円)	摘要
収入の部	前期繰越金	3,036	
	参加費	592,000	148名×4,000円
	雑収入	4,000	新総伝者4名よりご祝儀
	合計	599,036	
支出の部	式典・懇親会	41,500	ホール、大会議室使用料
	飲食代	501,709	弁当、オードブル、ビール その他
	装飾費	14,084	会旗データ作成、弁当掛け紙 その他
	傷害保険	3,848	東京海上日動保健
	会議費	5,189	打合せ
	参加費	15,365	余興参加費
	事務・雑費	11,009	ゴム印、配付資料のコピー
	交通費	4,000	
	次期繰越	2,332	
	合計	599,036	

会員のうごき

*退会

32 鈴木岳虎 (滝の坂)
127 鈴木翠風 (滝の坂)

*住所および電話番号変更

35 白井岳照 (相洋)
〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東2-12-363
ベストライフ金沢文庫416号
TEL.045-789-0180

215 馬場香澄 (一色)

〒240-0112 葉山町堀内1991-2-102

TEL.046-802-8218

編集後記

碩心会創立75周年記念大会も余すところ2ヶ月となり、3月12日にはリハールが行われ熱の籠った吟詠、舞が繰り広げられました。

ご家族、お友達等に声かけをし、当日は詩吟の魅力を感じて頂きたいですね。

良い趣味を持ち、長く続ける事が生涯青春に繋がるのではないのでしょうか。

広報部

24年3月1日現在	会員数
葉山地区	113名
逗子・大船地区	95名
合計	208名